

第18回

A A F 戯曲賞

Aichi Arts Foundation Drama Award

応募要項 Application Rules & Requirements 愛知県芸術劇場 Aichi Prefectural Art Theater

戯曲とは何か？

本戯曲賞の大きなテーマである「戯曲とは何か?」。応募作品一つ一つの中にそれぞれの応えがあり、それぞれの思いが伝わってきて、演劇とは?演出とは?言葉とは?・・・と問いはどんどん広がって行きます。答えを探す旅にでたつもりが気づいたら大海原に船出していました。

どうやら戯曲とは思った以上に自由で広く深い問いを秘めたものようです。"上演を前提とする"ことが制限ではなく、もっと自由になるための一つの浮標になればと思っています。

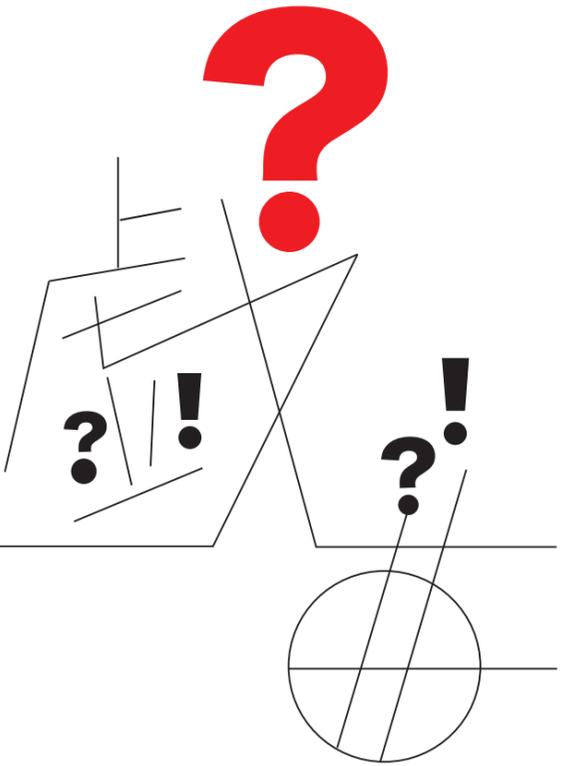
今年もみなさまからのご応募お待ちしております。

愛知県芸術劇場



撮影：松原豊

第16回AAF戯曲賞受賞記念公演『それからの街』
2017年10月21日(土)～23日(月)
作：額田大志 演出：鳴海康平



What is Drama?
戯曲とは何か？

主催・お問合せ
愛知県芸術劇場（公益財団法人愛知県文化振興事業団）
〒461-8525 名古屋市東区東桜 1-13-2 Tel：052-971-5609 (10:00～18:00) Fax：052-971-5541
ウェブサイト：<http://www.aac.pref.aichi.jp> E-mail：ws2@AAF.or.jp
※6月の月曜日は電気設備点検のため全館休館となります。ウェブサイトの閲覧やFAXの受信ができない場合があります。

助成：文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業） | 独立行政法人日本芸術文化振興会



WANTED!

あなたの考える演劇上演のためのテキスト【募集】
We are inviting script for performance 大賞(1点)賞金50万円 特別賞(1点)賞金10万円

CHI HARU



SHINODA

photo: Tada Hengsapkul

今年、募集に力を入れています。といっても私ができる事は少ないので、いままでの審査であったことを書きます。ノートに手書きで数ページの応募もありました。アイデア段階のものもありました。それらはやはり全員の議論で短かったり、もう一歩踏み込んでほしいといった理由で審査を通過しなかつたのですが、そのためにも残しつつも一人で書いている時間を感じました。どこかで一人で書いている人、わたしたちが読みます。最初の読者にならせてください。

篠田千明 演出家、作家、イベント

1982年東京生まれ。2004年に多摩美術大学の同級生と「快快」を立ち上げ、12年に脱退するまで、中心メンバーとして主に演出、脚本、企画を手がける。以後、バンコクを拠点としソロ活動を続ける。近年は『四つのもくろ』『非劇』と、劇の成り立ちそのものを問いつつ作品を制作し、最新作はチリの作家の戯曲を元にした「ZOO」。2016、17年度セゾン・ジュニア・フェロー。

KOHEI



NARUMI

photo: 松原豊

カフカの言う斧たるテキストに出会いたいと願っています。同じ人間に選ばれたいという理不尽の前にもなお諦められない、歴史に向き合う覚悟や、啓示のようなユニークさや、現実に応答する真摯さに触れたいです。表層的な新しさや短絡的な焼き直しではないテキスト。どんな言葉で現実を記すのか、どんな言葉のつながりで世界を見ているのか、その行為のさまざまな結果との出会いが楽しみです。ぜひ。

鳴海康平 「第七劇場」代表、演出家

1979年生まれ。早稲田大学在籍中の99年、劇団を設立。これまで国内20都市、海外4ヶ国7都市(韓国・ドイツ・フランス・台湾)で作品を上演。2004年ロシア、08年香港にて研修。12年から1年間、ポーラ美術振興財団在外研修員としてフランスで活動。14年、三重県津市に拠点を移し、新劇場 Théâtre de Belleville を開設。16年から3ヶ年の台湾との共同制作プロジェクトが進行中。

SHIROTAMA



HITSUJIYA

photo: Sakiko Nomura

言葉から戯曲へどのように生成されるのかな。って、問いがあります。上演を知らない戯曲と、上演された戯曲がある場合、上演は戯曲に対して何かしらのボーダーなのでしょいか。というわけで、ますます、よく分からなくなってきました。

羊屋白玉

シアターカンパニー「指輪ホテル」芸術監督、演出家、劇作家、俳優

劇場での公演の他、国内外の現代美術の芸術祭に招聘され、サイトスペシフィックな環境で、地域の文脈と独自の表現を絶妙に結びつけ、演劇作品を発表している。他、アジアの女性舞台芸術家たちとのコレクティブを目指す亜女会(アジア女性舞台芸術家会議)代表。「東京」をテーマに、看取りや喪失や終焉に関するネガティブなテーマの取り組みをしている。ニューズウィーク日本誌で「世界が認めた日本人女性100人」に選ばれる。など。

MOTOI



MIURA

photo: Hisaki Matsumoto

劇作とは、時間をどう取り扱うかという意志なのではないか。歴史を書いて欲しい? いや、そんな難しいことではないです。オハヨウというただの挨拶でいい。その場合は朝を書いたということ。しかし、「オハヨウ」と言われて「オハヨウ」と返したら時間は朝のままです。「オハヨウ」と書いた「オハヨウ」やねえよ。コンバンワだろ。こんなに「は!」と叫びたい。そんな悪意に満ちた、失敬、時間を意識した戯曲を読みみたいです。

三浦基

演出家、「地点」代表

1973年生まれ。99年より2年間、文化庁派遣芸術家在外研修員としてパリに滞在。2001年帰国、「地点」の活動を本格化。05年、京都へ拠点を移す。著書に「おもしろければOKか? 現代演劇考」(五柳書院)。10年度京都府文化賞奨励賞受賞。11年度京都市芸術新人賞受賞。13年、本拠地京都にアトリエ「アンダースロー」をオープン。17年、読売演劇大賞選考委員特別賞受賞。

MIWA



YANAGI

美術と野外劇、二足のわらじを履いています。美術作品は、作品の前で立ち止まった人にだけ聞こえる「時代を越えて囁き続ける声」。舞台作品は限られた時間の中で全力投球する「一期一会で呼び伝える声」。その両方を担えるのが、声にするために書かれたテキストでしょう。そんな戯曲に審査で出会うことを期待しています。

やなぎみわ アーティスト

1990年代より国内外での展覧会多数。2009年、第53回ヴェネツィア・ビエンナーレ日本館代表。11年から演劇活動を開始。美術館、劇場と場を移し、13年にはあいちトリエンナーレ2013にて匿名の声というメディアに取り組んだ『ゼロ・アワー ~東京ローズ最後のテーブル~』を発表。16年夏より移動舞台トレーラーによる野外演劇の旅巡業を始める。19年2月、10年ぶりの美術館個展が高松市美術館から5都市に巡回する。

【募集内容と条件】

- ①あなたの考える演劇上演のためのテキストであること (外国語のテキストの場合は作者本人の責任による日本語翻訳を添付してください)。
- ②既発表・既上演作品も応募できます (他戯曲賞への応募歴がある作品は応募できません)。
- ③作品点数は一人1点に限ります。 ④応募作品は書式自由、ただし、A4用紙 200 枚程度まで。

【応募方法】

別紙応募票に必要事項をご記入の上、愛知県芸術劇場 AAF 戯曲賞係まで書留郵便または宅配便で送付するか、愛知芸術文化センター 地下2階アートプラザに持参してください。E-mail での応募はできません。

提出物: 応募票、表紙 (作品名、応募者名を明記)、作品概要 (A4 用紙 1 枚程度、書式自由)、応募作品

応募票は愛知県芸術劇場「AAF戯曲賞」ウェブサイトからダウンロードできます。QR→ http://www.aac.pref.aichi.jp/gekijyo/syusai2018/detail/18_aaf_bosyu/

※応募に際し、必ず募集要項の注意事項をご確認ください。



【大賞受賞作品について】

- ・大賞受賞作品は、戯曲賞受賞記念公演にて上演されます。
- ・上演時期は 2019 年度以降を、上演場所は愛知県芸術劇場小ホールを予定しています。
- ・上演は、愛知県芸術劇場プロデュース公演とし、演出家・出演者その他公演内容は審査員・作者と協議の上、当劇場が決定します。
- ・上演に際して作者の同意の上、作品を改変・翻案する場合があります。

【Details of Requirements and Conditions】

- ①Submission must be a script for performance on stage (If the entry is originally written in non-Japanese, applicant must attach Japanese translation of the text at the applicant's cost)
 - ②Previously performed on stage, or published script is applicable. (The script which previously submitted for other competitions is NOT applicable.)
 - ③One entry per applicant.
 - ④No set format for the script. A4 size paper up to approx. 200 pages.
- <Method of application>
* Submission items: (1)Application form, (2)Cover page (Title and applicant's name must be written), (3)Outline of the script (A4 size paper 1 page, no set format), and (4) Script.
<Application period>: June 1 (FRI.) to July 31 (TUE), 2018.
Submission must be done no later than July 31, 7:00PM.
<Reward>: Drama Award 500,000 JPY. Special Award 100,000JPY. *including local consumption tax and income tax.
<Method of jury>: After the application due, primary and secondary jury session will take place.
Announcements of 1 Drama Award and 1 Special Award are made at the open jury session on January 6(Sun), 2019. (The primary and secondary jury session results will be announced on the website of Aichi Arts Foundation.
The jury session processes will be reported and disclosed on the website. The open jury session is planned to be broadcasted through internet.)

審査
スケジュール

受付
6月1日(金)~7月31日(火)
(持参の場合 31日 19:00 まで)

10月上旬 一次審査通過作品発表
(劇場ウェブサイトにて)

11月上旬 二次審査通過作品発表
(劇場ウェブサイトにて)

2019年
1月6日(日) 最終審査 大賞・特別賞決定
(愛知県芸術劇場 小ホールにて公開審査を行います)

二次審査終了後、一・二次審査のレポートをウェブサイトにて公開します。また、最終審査はインターネットによる生中継も行います。